



美しい郷へGO!!

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議
環境ニュース部会
TEL 0238 (85) 6131
FAX 0238 (85) 5275

こまめに消して

高校生節電コンテスト堂々2位



～県立荒砥高等学校～

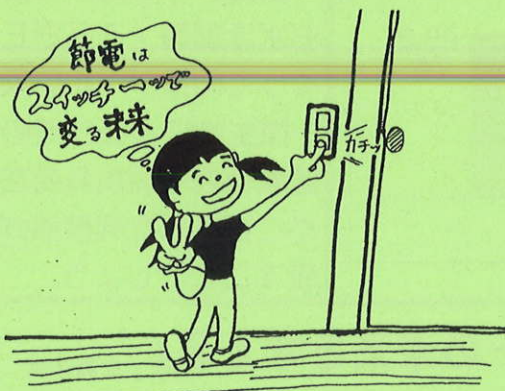
この夏、東日本大震災による原子力発電所や火力発電所などの甚大な被害により、供給電力が大幅に減少しました。山形方式節電県民運動の取り組みとして、県内の県立高等学校もそれぞれ力を入れ、第1期（6月～9月）の結果が発表されました。県立高校全52校（分校および校舎を含む）の中、35.3%（前年同期）の削減率で堂々の2位となっています。

荒砥高校の取り組みとして、こまめに照明を消す、明るい日は窓から遠くの照明のみを点灯し、無駄な灯りは消す。自動販売機の設定温度を少し上げるなど簡単と思われがちなことばかりですが、生徒一人一人が気をつけて行動した結果の現れです。

この取り組みは、10月から平成24年1月（第2期）まで続けられ、生徒の皆さんは夏同様こまめに節電しているようです。高校生176名の取り組みが町全体に広がることを願います。

電力使用量削減割合上位校

順位	学校名	削減率
1	鶴岡中央高校温海校	40.5%
2	荒砥高等学校	35.3%
3	酒田西高等学校	34.3%
4	山添高等学校	32.6%
5	山辺高等学校	31.1%
6	新庄南高等学校	29.3%
7	寒河江高等学校	28.1%
8	左沢高等学校	27.8%
県立高等学校平均（52校）		20.03%



冬の省エネワンポイント

- ・家族一緒の部屋で団らんの時間をすごしましょう。
- ・こたつ敷きや電気カーペットの下に断熱シートを敷きましょう。
- ・カーテンは厚手のものを使いましょう。
- ・出掛ける15分前に暖房器具の電源を切りましょう。
- ・暖房便座のふたは必ず閉めましょう。



- ・見ないテレビは消しましょう。
- ・照明はこまめに消しましょう。
- ・冷蔵庫の設定温度は弱にして！
- ・使用しない電化製品はコンセントから抜きましょう。
- ・電気ポットから保温ポットにすればかなりお得！
- ・保温ジャーをOFFにして食べる分だけ温めましょう。



ごみダイエット大成功!

11月9日(水) 鮎貝地区公民館において、9月・10月の2か月間行われたごみダイエットモニターの結果集計と修了式が行われました。

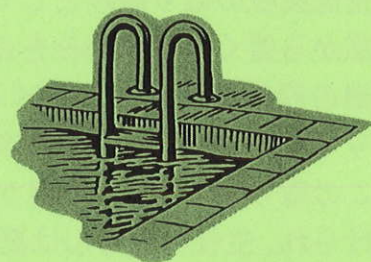


参加されたモニター27名が各家庭で実施した結果、総量で179.8kgの減量に成功し、ごみ減量のポイントを意識して取り組むことで成果が表れることを実感しました。

減量のポイントとなったのはやはり可燃ごみを減らすことです。生ごみはコンポスターで堆肥化し、小さな紙まで古紙回収に出すことで23%減らしました。プラスチック容器等はこれ可燃ごみに出していたものを、洗って資源ごみに出すようにした方もおりました。また、家族の協力が大きいとの感想もあり、家族みんなで意識して取り組むことも大事なポイントのようです。また、廃食用油でつくった粉せっけんや重曹を使っての“換気扇の掃除の仕方”の実践講座もたいへん好評で、ごみダイエットとともに町全体に広げて行きたいものです。

学校プールに EM 発酵液を投入

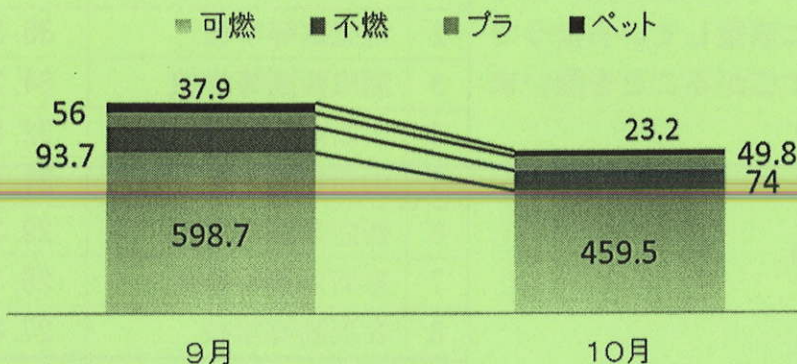
10月中旬、蚕桑・鮎貝・荒砥小学校の4年生が、来春のプール清掃に向けてEM発酵液づくりを行いました。子どもたちが各家庭から持ってきた米のとぎ汁にEM(有用微生物群)を入れ、環境のことも学びました。みんなで作った液は、気温が低いと発酵に時間がかかるため、水環境部会でお預かりしてしっかり温め完成。完成した発酵液に推進会議で用意した発酵液を加えて、11月初旬、各校のプールに投入しました。



また、10月14日に東中学校でも水泳部員14名がEM発酵液をつくって同校プールに投入しました。微生物による自然の力を利用して健康被害や環境負荷を少なくするために投入した発酵液が、来春効果を表すことでしょう。

減量の成果

単位:kg



環境フォーラム 田中優氏講演「エネルギーの未来を考える」を終えて

11月13日(日) 白鷹町産業センターを会場に「エネルギーの未来を考える」と題し環境フォーラムが開催され、町内外から約100名の方が参加されました。福島原発事故による放射能汚染や原子力発電を含めた電力依存の実態について話をされました。エネルギー自給率が4%といわれている現在、次世代に引き継ぐためには、国内の資源を含めた自然エネルギーの活用が必要と話されました。



参加された若いお母さんからは、“土遊びの好きな子供たちには本当に大丈夫なのか?”と質問され、放射線はほこりと同じなので土をかぶせることが有効であると教えていただきました。また60代女性は、風評被害の詳しいことがわかりある面で安心した、節電の大切さが新たに感じられ、これからの子ども達に、私たち大人が責任をもって生きるに値する社会を残すことがとても大事と述べられていました。